

北海道原水協 F A X ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp

電話 011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 2015年9月15日

被爆70年を核兵器廃絶の転機に！

各地・職場で世界大会報告会が開かれる

被爆者の話を聞いて・・・戦争も核兵器もない世界をと決意を新たに

札幌西区・手稲区原水協は8月31日、勤医協西区病院内大会議室で報告会を開きました。小学生と高校生を含む代表9人が勢ぞろいして報告、感想と決意を50人の参加者に伝えました。

高校生の林亜裕子さんは、「教科書では原爆が落とされたということだけで、中身は何も教えてくれなかった。直接、被爆者から話を聞くことができて良かった。また一緒に行った高校生と話すことによって、自分の素直な意見を出すことができた」と話しました。

小黒悠佑さんは、家族で参加した『少年少女平和のつどい』で聞いた被爆者の話を歌にし、初披露しました。差別されるから被爆のことは言わないようにと父に言われたが、30年前に被爆体験を話すようになって苦しみは光になった。♪♪光にかわるという感動的な歌でした。(写真/ゲンTシャツを着て弾き語りする小黒さん)



苫小牧原水協は9月12日、苫小牧市内で報告会を開きました。日高ブロックの高校生2人の感想文も、苫小牧代表団(7人+日高2人)報告集に掲載されました。

2年前に世界大会、今春にNPT・NY行動に参加した富田昌美さんは、「海外の人が日本の政治に関心を持っている。診療報酬や生活保護など、身近なところから政治を変えていきたい」と発言しました。

「被爆者の言葉を多くの人に伝えたい。戦争半対の声をあげていきたい」

「テーマ別集会“アジアの平和のための日本の役割”で、若い人が積極的に発言して期待が持てると思った」

「戦争を体験していない私が節目の年に長崎に・・・絶対に核兵器を廃絶させなければ、戦争の経験のない世代に伝え続けていかなければとこの事実を風化させてはいけないと感じた」

戦争法案絶対廃案！

参議院でも60日ルールで強行採決許すな！ 北海道憲法共同センター

関係団体の皆さんに「8・30全国100万人大行動」を超える行動参加で、最大の山場の戦いを組織し、戦争法案強行採決を阻止する地域・職場での共同行動を成功させるために奮闘されることを呼びかけます。

強行採決するな！の要請 f a x の集中を

03(3502)7009 鴻池祥肇・参議院安保法制特別委員会委員長

03(6551)1201 山崎正昭・参議院議長

03(3508)9905 大島理森・衆議院議長

《緊急のよびかけ》

